

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966
<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



白石2丁目(撮影/吉村哲明)

2015年3月1日号 Vol.21

SL「やまぐち」号 今春初運行!

SLに向かって手をふろう!

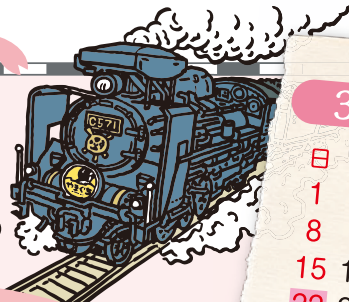
沿線で、散歩中に、お宅から…SLにむかって、元気よく、笑顔で手をふろう!
きっと、乗客のみなさんも笑顔で楽しんでくれるよ♪(※安全第一。線路に入ったりしてはいけません)

お花も咲き始め暖かくなってきた春の日に
山口駅でSLをお見送りませんか?

おもてなし
作戦決行 **3月22日(日)**
山口駅 11:09着 ▶ 11:10発



来場の皆様へ
「手作りのしおり」とお菓子を
プレゼント(失着50名様)



3月の運行予定日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11時過ぎと17時過ぎに
白石地区内を通過します

地域福祉部会主催講演会

「子どもの現在を未来に拓く(IV)」

～地域に生まれ地域に生きる～

1月31日(土)、山口県立大学社会福祉部の赤羽潔教授を講師にお招きし、子どもの育成等に関する勉強会を開催しました。今回は、前回のグループ討議で出たテーマを6つに絞り、6グループに分かれて「白石の子どもと生きる」地域の取り組みイメージの問題点やその解決策まで検討しました。「今後の地域活動に生かせる内容となった。大変有意義だった。」との声が多数聞かれました。



防災実働訓練を実施

2月1日(日)、荒高町内会が、西門前・新橋町内会と合同で防災実働訓練を実施しました。平日の通勤、登校中の災害を想定し、あらゆる状況に対応できるよう本番さながらの訓練をされ、終了後、反省会および県河川課長による勉強会が行われました。



災害本部
を設置

一袋30kg

地域づくり計画策定委員会を開催

第3回・第4回住民アンケート部会(1/26・2/5)、第4回全体会議(2/5)を開催しました。より良い白石を目指して、みな様の感じておられる課題を明らかにし地域に対する思いをお聞きするために、本年4月に実施する住民アンケートの設問について検討を重ねています。アンケートは白石地区在住の18歳以上の方を対象に無作為に選ばせていただきお送りします。みな様のご意見が地域づくりへと繋がります。お手元に届いた際には是非ご協力くださいますようお願いいたします。一緒に地域をつくっていきましょう。

白石地区町内会連合会が交流会を開催

2月10日(火)、各町内会の方々が集まって「町内会役員の課題」「町内会活動(行事)の課題」について、ワークショップ形式で意見交換をしました。日頃思っていることをお互いに出し合い、他町内会の事も含め白石地区の課題を見つめる良い機会になりました。

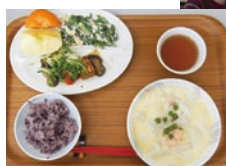


食推だより その13

減塩レシピ作ってませんか?
～減塩推進事業～

男性減塩料理教室を開催しました!

1月30日(金)白石地域交流センター調理室にて開催しました。男性のみなさん、いつもお料理をしているの?と思うほど手際よく、盛りだくさんのメニューをてきぱき楽しそうに作られました。終了後にお願いしたアンケートでは「開催日数を増やしてほしい」との嬉しい声が多数ありました。



第10回 たかすぎしんさく 高杉晋作③ しらいしちやうすやま ~白石茶白山の高杉家~

慶応2年(1866)10月。その頃、下関で療養生活を送っていた高杉晋作は、矢原村(現・宝町)の大庄屋・吉富藤兵衛よしとみとうべえ(簡一)かんいちの斡旋で、白石茶白山の土地を購入しました。

当時、長州藩の政治の中心地は萩から山口へと移転。多くの人が山口に移り住んでいました。ですから晋作も、その流れに従い、そこに家を建てようと考えたのでしょう。

さて、それで、その土地の大きさや値段ですが、このような記録が残されています。

屋敷五畝六歩	米六斗一升四合
同所屋敷三畝十五歩	米五斗七升五合
茶	米七升二合
茶白山一ヶ所	此立銀二匁二分二厘
畑	八畝二十一步
以上 高	一石二斗六升一合
※合壁山 <small>がっぺきやま</small>	一ヶ所
代銀三貫目	

※合壁山 がっぺきやま 長州藩の民有林

これを見ますと、購入した土地は1カ所だけではないようです。他にも「畑」、そして「茶」とあります。(「茶」? う〜む。こりゃあ茶畑のことなんでしょうかねえ…。)

同年11月24日。このことについて、彼は、父・小忠太こちゆうたに、「鴻城(山口の異称)茶白山に家を建てようと思います。来年2月から造築に取りかかり、その費用も自分が支払いますので心配ご無用です。どうぞご安心ください。図面については父上にお任せしますので、調い次第、吉富藤兵衛までお送

りください。来春には山口に行って自ら指示する予定です」といった内容の手紙を書いています。

そして、翌慶応3年(1867)2月。下関の桜山招魂社(現・桜山神社)近くにあった「東行庵」とうぎやうあんで療養中の晋作は、病がさらに重くなったため、新地の大年寄りの林算九郎はやしさんくろう邸の離れに移りました。

3月24日、病状はさらに悪化。萩から両親と妻子が駆けつけました。病床には野村望東尼のむらぼうとうにと晋作の愛人うの、そして僧侶が付きっきりで看病していました。

しかし、それからしばらくして、晋作はこの世を去りました。享年29歳(27年8カ月)。慶応3年(1867)4月14日のことでした。

その後、山口白石の茶白山に、高杉家が完成しました。

そこには、父・小忠太、母・ミチ。そして妻・マサと長男・梅之進うめ(東一)のしん とういちが、上京する明治10年(1877)まで暮らしていました。

もし、晋作が明治まで生きちゃったら、彼の弾く三味線の音色が、茶白山の周り近所に鳴り響いちゃったかもしれんですね。

「三千世界の烏を殺し 主と朝寝がしてみたい」



高杉家屋敷跡周辺(白石)

明治維新150年記念講演を開催しました
「幕末の名君：毛利敬親」

2月21日(土)、小山良昌氏を講師にお招きし、記念講演を開催しました。幕末の混乱期、窮乏していた長州藩を豊かにし、結果として明治維新を成し遂げるきっかけを作った敬親公について、わかり易く興味深いお話をさせていただきました。



明治維新150年記念講演のお知らせ
「文久三年の高杉晋作」

松前了嗣氏を講師にお招きし講演会を開催します。お気軽にご参加ください。



参加無料
学生さんも大歓迎!

講師：松前了嗣氏

日時：平成27年3月15日(日) 13:30~

場所：白石地域交流センター講堂

申込：白石地域交流センター(TEL 922-0381)、白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)